

31 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 介護福祉 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|------------------|---------------------|---|---------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 生活支援技術Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 木曜3限 | 教室名 | 401 |
| 担 当 教 員 | 前山かおり | 実務経験と その関連資格 | 介護福祉士として、高齢者施設にて勤務 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 自立に向けた介護のポイントをADL(日常生活動作)から理解し、利用者にあった介護方法を実践できるように学ぶ。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験70% レポート20% 態度・発表10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 最新介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 自立に向けた用具、道具を授業前に教科書で確認する。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 生活支援技術の演習と関連しているので福祉用具は確実に用途方法を理解する | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 1 回 | 講 義 形 式 | 授業を 通じての 到達目標 | 生活支援技術Ⅱの演習と関連性があることを理解することができるようになる | | | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | オリエンテーション 授業内容について | | | |
| 第 2 回 | 講 義 形 式 | 授業を 通じての 到達目標 | 身じたくに関する根拠が理解することができるようになる | | | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 自立に向けた身じたくの介護 身じたくの流れ、介助のポイント | | | |
| 第 3 回 | 講 義 形 式 | 授業を 通じての 到達目標 | 利用者の身じたくの介助の方法を理解することができるようになる | | | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 自立に向けた身じたくの介助 ①利用者の状態に応じた身じたくの介助 洗顔・整髪・ひげ爪の介助ポイント | | | |
| 第 4 回 | 講 義 形 式 | 授業を 通じての 到達目標 | 利用者の身じたくの介助の方法を理解することができるようになる | | | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | ②利用者の状態に応じた身じたくの介助・耳・化粧・口腔ケアのポイント | | | |
| 第 5 回 | 講 義 形 式 | 授業を 通じての 到達目標 | 衣服のもつ役割・衛生管理、介助の視点の理解ができるようになる | | | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | ③利用者の状態に応じた身じたくの介助 衣服の着脱 介助のポイント 身じたくの介護における多職種との連携 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|--------------------------|------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自立した移動の流れを理解することができるようになる | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自立に向けた移動の介護 ①利用者の状態に応じた移動の介助 介助のポイント移動移乗における基本的な視点 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自立した移動の流れを理解することができるようになる | 最新介護福祉士生活支援技術 I p 82～191 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ②利用者の状態に応じた移動の介助 介助のポイント | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 安楽な姿勢・体位に必要な介助について予防の方法を理解することができるようになる | 最新介護福祉士生活支援技術 I p 82～191 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ③利用者の状態に応じた移動の介助 安楽な姿勢・体位を保持する介助・道具・用具・車椅子の構造 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 福祉用具について知り、移動の介護に、活用できるようになる | 最新介護福祉士生活支援技術 I p 82～191 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ④利用者の状態に応じた移動の介助 車椅子の介助実際移動・種類・リフトについて | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 利用者が安定して歩けるように支援し、必要時道具・用具を提供することができるようになる | 最新介護福祉士生活支援技術 I p 82～191 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ④利用者の状態に応じた移動の介助 歩行の介助・道具・用具 多職種との連携 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 利用者の尊厳を考え食事の介護ができるように留意点を理解することができるようになる | 最新介護福祉士養成講座7「生活支援技術II」 | 関連科目の教科書読み 専門用語の下調べ |
| | | 各コマにおける授業予定 | 食事の意義と目的 自立した食事のあり方について学ぶ | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自立に向けた食事の介護について理解することができる | 最新介護福祉士養成講座7「生活支援技術II」 | 関連科目の教科書読み 専門用語の下調べ |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心身の状態・状況に応じた適切な介助方法を学ぶ | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自立に向けた食事の介護について理解することができる | 最新介護福祉士養成講座7「生活支援技術II」 | 関連科目の教科書読み 専門用語の下調べ |
| | | 各コマにおける授業予定 | 誤嚥予防のための支援 口腔ケア | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 食事の介護における多職種との連携について理解することができる | 最新介護福祉士養成講座7「生活支援技術II」 | 関連科目の教科書読み 専門用語の下調べ |
| | | 各コマにおける授業予定 | 食事の介護における多職種連携の必要性について | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自立に向けた介護のポイントを理解することができる | | 関連科目の教科書読み 専門用語の下調べ |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめと試験 | | |